

平成24年12月31日

従業員各位

株式会社 徳 ・株式会社 傳六  
ノリックス株式会社・有限会社 和公  
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

今年の年末はどの店舗も昨年よりも忙しく残業時間も多くなり調理担当者のみならず各部署の皆様にはご労苦をおかけいたしました。またおせち料理の製造・配達にかかわっていただきました皆様お疲れさまでした。本年は昨年よりもさらに商品をブラッシュアップしてお客様目線でのお値打ち感・お得感を追求し内容の改善に努めました。そのおかげで昨年より受注数も増え、より多くのお客様に私どものおせち料理を召し上がって頂く事ができました。

ご存知の通りお客様が新しい年を迎え最初に御家族で召し上がって頂く食事が「おせち料理」です。その料理が不味かったり、異物混入があったりということは私たちプロにとって許せないことであり築き上げてきた信用を失墜させる原因となります。来年も今あるおせち料理の内容をもっと改良してお客さまが本当に求めているものを探求し、もっとお客様に喜んでもらう商品の提供を目指します。

さて、お正月を前に世間では「縁起」という言葉をよく聞きます。縁起がいい、悪いというように吉凶の兆しの意味で日常的に使われます。よい兆しをもとめて「縁起物」と呼ばれる置物や縁起の良い食材を食べる事もこの時期多いと思います。しかしながら本来の「縁起」の意味は「他の多くのものの力、恵み、おかげを受けて私たちは生かされている」という仏教の教えといわれています。すべてのものには原因と結果の法則があり原因と結果が複雑に関係し影響しあって持ちつ持たれつの関係になります。例えば「花」が咲くのは「種」という原因があるからなのですがそれだけでは花は咲きません。温度・土質・日光・肥料・人の手入れなど様々な条件が働いて花が咲きます。

私どもの会社も同様でいくら優秀な社員がいても、社長が一人で頑張っても事業は実を結びません。市場のニーズなどの周囲の環境や、良い商品を正しく作る為の人間関係、協力業者の方々をはじめとする社外の方との連携など様々な縁があって初めて実を結びます。多くのもののおかげを受けて何とか事は成ります。

そして一番大切な事は自分の心に「思い」という種をまくことです。その種を大切に育み自分が美しいと思う「花」を咲かせ、周りが幸せになる「実」を結びましょう。良い思いは良い実を結びます。

2013年が皆様にとって良い年になることをお祈りいたします。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に**新たな価値**を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来年も一緒に頑張りましょう

草々

\* 毎月新聞新年号は諸般の都合により休刊いたします。1月末の新年合併号を乞うご期待。